# 朝霞市におけるグリーンインフラの解析について

## 1. グリーンインフラマップの作成の目的

ネイチャーポジティブなどの社会潮流から
緑地保全･都市緑化政策の着実な推進が求められる

【現状】 政策検討に先立つ緑地の分析は、定性的評価にとどまる

緑地政策検討における根拠の強化が必要

分析のための基盤地図として、**グリーンインフラマップ**を作成

## 2. グリーンインフラマップの構成

朝霞市の緑の多面的機能の解析は、以下の構成を検討しており、分析軸については入手資料精度や議論の優先順位等を踏まえ検討いたします。解析結果は緑地の配置方針の根拠として活用します。

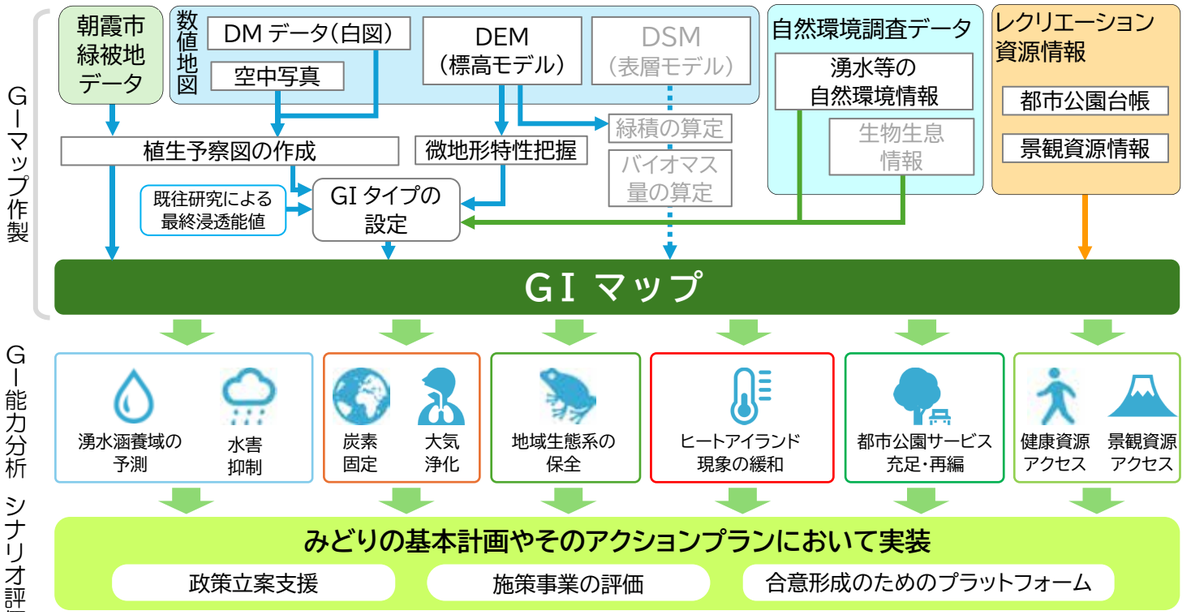


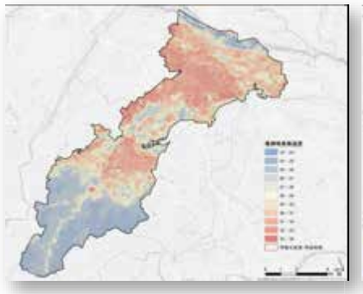

図　グリーンインフラマップの構成(案)

## 3. グリーンインフラマップによる分析のイメージ

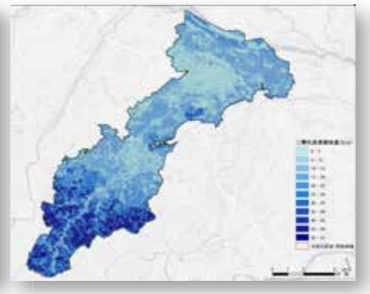
### 1） 分析対象のイメージ

- 生物多様性保全・気候変動対策・都市気象の緩和等の評価から永続的に優先的に保存する必要がある樹林はどこか
- 代官水緑地や広沢の池等の湧水、黒目川や越戸川の平常時流量を確保する地下水涵養域はどこか
- 雨庭をまちづくりの視点からどのエリアに配置したらよいか
- 子どもの遊び場の不足域はどこか
- 老朽化や利用ニーズ乖離の視点から都市公園の再編はどこで必要か　など

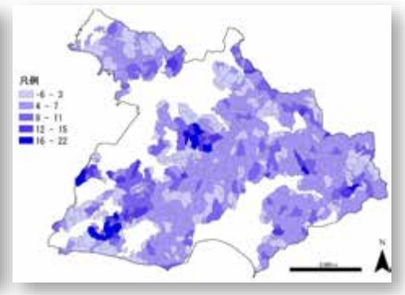
### 2） 既往事例の分析例



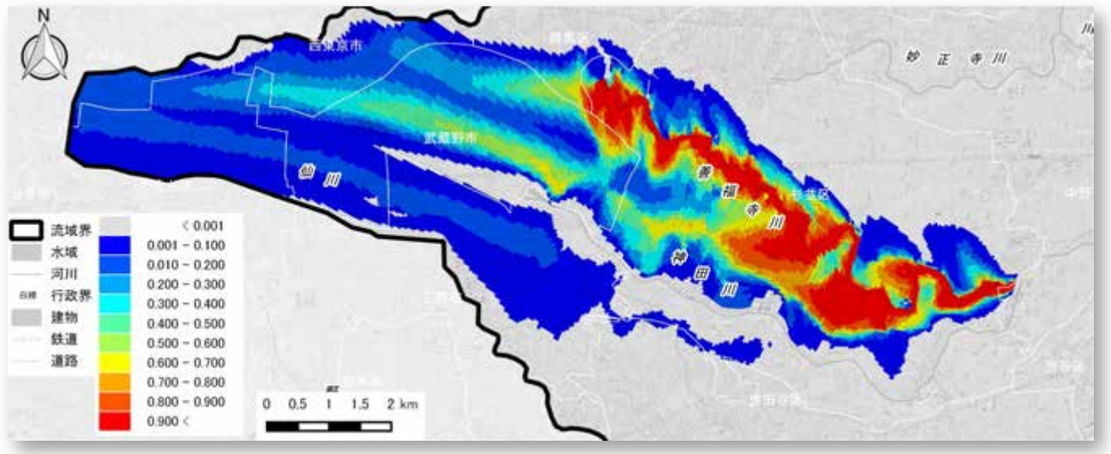
推測地表面温度図
引用：株式会社地球スケッチ資料



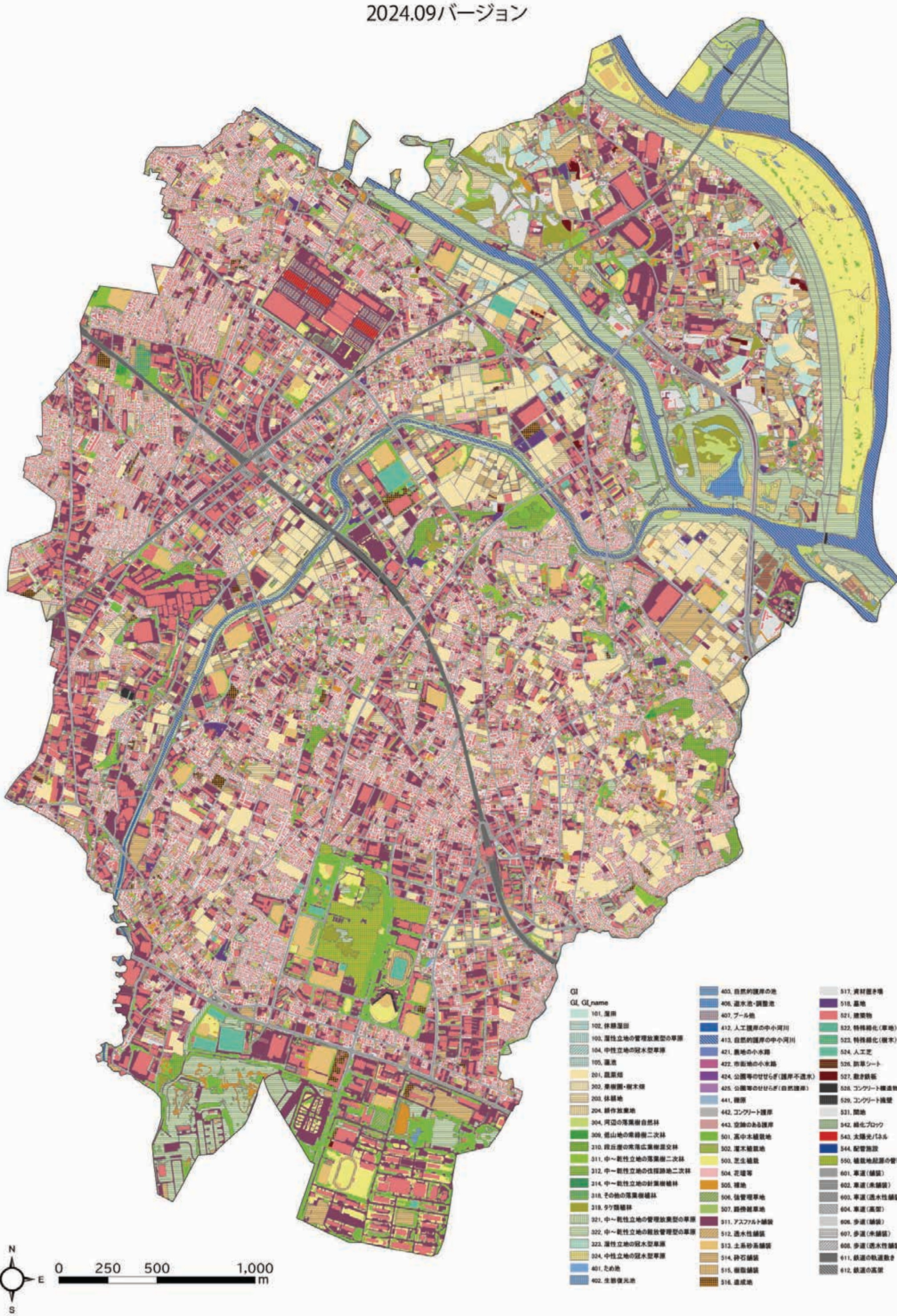
二酸化炭素吸収量図
引用：株式会社地球スケッチ資料




生物多様性に関わる
市全域の多様度得点予測図
Hideya Yamashita(2003), “A study on the biodiversity evaluation of greenspaces based on small basin units”, Proceedings of The 8th Inter-University Seminar on Asian Megacities, Beijing, China




地下水流動モデリング(善福寺川に湧出する雨水浸透由来)
引用：小西・田原・山下・他（2018），大都市河川流域を対象とした水循環モデリング，公益財団法人日本地下水学会 2018 年春季講演会

# 朝霞市グリーンインフラマップ

2024.09バージョン